

後悔だらけの

NTR 記録

REC

妻

を

巨

の

親友に
差し出した

ました

Red.D









おいどうした?
急に変な声出して

あああつ……
もうっ!!

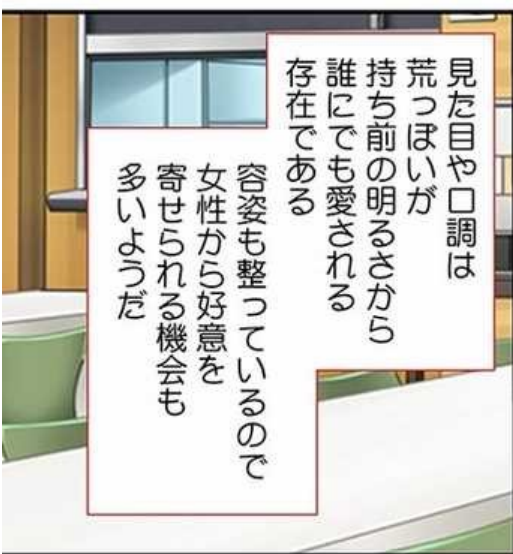


もちろん妻に対して
愛情が薄れてしまった
わけではない

それなのに
いざという場面で
全く機能しないのだ

……もしかや
何かの病気なの
だろうか?

だとしても
どこに相談すれば
いいのだろう



見た目や口調は
荒っぽいが
持ち前の明るさから
誰にでも愛される
存在である

容姿も整っているので
女性から好意を
寄せられる機会も
多いようだ



悪目立ちしてんぞ
直太郎

うおっ!?
な……なんだ司か

道邦 司は
学生時代からの旧友だ
今は僕の仕事場と
同じビルにあるジムで
インストラクターを
やっている



内気な上に
ヒョロチビの僕とは
何もかもが正反対

なぜ二人は気が合ったのか
未だに不思議だった



にしても……
何か思い悩んで
いるのか?

俺で良ければ
相談に乗るぜ

でも司なら
何か解決のヒントを
くれるかもしれない



ふむ…
なるほどなあ…

事情は理解したが
こればかりは
当事者同士の問題
だからなあ

俺がどうこうできる
話ではなさそうだ
悪いな

……そ
そうか



おいおい
そんなに
しよげんなって

俺は医者でも
カウンセラーでも
ねーんだからよお

ちゃんと解決したいんなら
泌尿器科辺りに
相談すべきだろうなあ

まあ……
そうだよな

……おお
これは想像以上に
重症みたいだなあ…

うーむ

……解決策になるかは
わからないが
一つだけ方法を知ってるぜ



え……
ほ…本当か……ッ!?

なあ……是非
その方法を教えてくれっ!

僕たち昔からの
仲じゃないかっ!

わ…わかった
わかったからっ!

もうちょい
静かにしろって!
みんなに
見られてんぞ…!

あっ!?
ああ……ごめん
つい



言っとくけど
効果があるかどうかは
わかんねーぞ

あくまで可能性の
話だからな

それにこの方法は
精神的に相当クるし
あまりにもリスクだ

それでも……
問題ないのか？

だ…大丈夫っ！
時には荒療治って
必要だろっ！



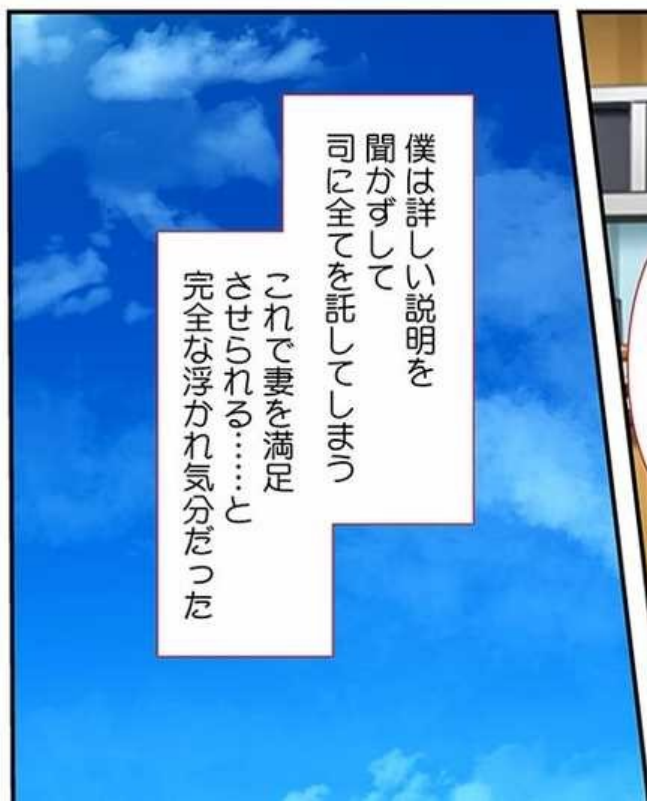
……つたく
わかったよ
そこまで言うなら
試してやる

ただ詳細は教えられねえぞ
当日その場でやるからこそ
効果を発揮するんだ

……？



これが僕と妻にとって
破滅の道への始まりに
なるとも知らずに



僕は詳しい説明を
聞かずして
司に全てを託してしまう

これで妻を満足
させられる……と
完全な浮かれ気分だった

あ…ああ
構わないっ！
宜しく頼むっ！



私のことは
気にしないで

……いいえ
大丈夫よ

抵抗あるかな？

やっぱり
その……



……ごめんな
佳代子



だからこそ
何とかして
この状況を
脱したいのである

そんな妻を少しでも
喜ばせたい

ピンポーン



むしろ今まで
あなたの悩みに
気付けなくて……

本当に
ごめんなさい

妻はいつでも献身的に
尽くしてくれる

気遣いもでき
常に笑顔で僕を
和ませてくれる存在だ



妻の……
か……佳代子ですっ
いつも主人がお世話に
なっております

は……はい……
えっと……
はじめまして

あせ



ふうん……あんたが
直太郎の奥さんか



いやあ悪い悪い
待たせちゃったな





ま…マンネリ…？



……直太朗

お前たちは
“マンネリ”の
状態なのさ



ちよつと失礼

え……？
あ…あのっ？



ああ

簡単に言えば
同じことを繰り返すうちに
新鮮味がなくなつち
まったんだ

つまりそれを解消するには
“新たな刺激”を
与えてやればイイのさ

新たな……
刺激を？



よく見ておけよ
んっ！

ひゃぐつ！
んむむうッ！



んあ……
あんっ!

ほら奥さんも
もっと口開ける……

そうだ
んっ……

待て
何もしないって
約束だろう?

お前はそこで
じっくり眺めてりや
いいんだよ



は……?
えっえ……っ!?

ちょ……っ
な……何を……ッ



ぐうう……
そ……そんなあ
……ああッ

んあ……イイぞ
ねつとり舌を絡ませろ
俺の唾液たつぷり飲ませて
やるからなあ……



あ……あ
ひやうう……
や……やめれくらひや
んぶむっ

いいから
我慢しろって
これも全てあいつのため
なんだからさあ……



あ……あなたあつ!

さて
こんなもんな



くっ……
ぐうう……

……勃起してる?

え……?





はあはあっ
佳代子……ッ！
佳代子お……ッ！
くううッ！

あんっ
あんっ
あんうッ！



あはあ
んっ



凄いい……
とっても激しいのおツ！
硬くて……熱くてえッ！

あっ……ああっ
あなたッ！
あなたあッ！

あああ……
アソコが燃え上がり
そう……ッ！

な……何で
こんなに違うのおツ！
あなたあ……

私の身体あ
おかしくなっちゃった
みたい……ッ！！



あああ……
イクッイクッ
ううう……ッ！！

あああ



ど……どうしたんだ
興奮が冷めやらない
体内から
どんどん湧き出て
くる……ッ！



はあはあ……
あ……あなたあ
気持ち良かったあ……



な……中に
いっぱい出てるう
あああッ



あああ佳代子おッ！
イッたはずなのに
治まらないんだ……ッ

ひやううッ!?
はううう……ッ!



つて……え……?



もつと……
もつとしようッ！
くっ……
うううう……ッ!

そ……そんなッ!?
ひひやッ……
くひやああッ!

ダメえ……
わ……私これ以上されたら
おかしくなっちゃう
からあ……ッ!

いや……
もつとだッ!
尽きるまでもつと……
……ずつとッ!

ああああ
んあッ
ひやああッ!

“寝取らせ”

先日の行為には
そのような名称が
あるようだ

最愛の妻や彼女を
他人に差し出し

その時に巻き起こる
負の感情が興奮へと
変換されるらしい

事実…僕はあの時
狂おしいほどに
心が昂っていた…

凄い……
こんな魅惑の行為が
あったなんて

その効果は靚面で
僕は毎晩のように
妻との夜を楽しんでいた

しかし次第に
興奮度は薄らいでいく

すると同時に
あの喉が渴くような
生々しい光景を
もう一度味わいたいと
考えるようになっていた

そうか
効果があつた
みたいだな

ああ
その節は本当に
ありがとう

それで…

が……先に言っておく
もうこれ以上は
止めた方が良く

正直…俺は今でも
後悔しているんだ

あれがきっかけで
関係を壊したく
ないからな……



いいか…この行為は
前回と同じじゃダメなんだ

はあ……
わかってないな



大丈夫だよ
むしろ感謝しても
しきれないくらいだ

だからまた……
その…頼むよ
な？



回を増すごとに
より内容は激しく
しなくちゃならない
言わば麻薬のような
もんなんだよ

本当に理解
しているのか？

つまり次はキスなんかじゃ
済まないってことだ

お前の目の前で
奥さんが犯されるん
だぜ……

辛くないのかよ？



だけどそれが
もの凄く興奮するんだ…
僕も佳代子も

……奥さんも
本当にそれで
良いんだな？



辛さ

心臓がズキズキ
と痛む……

想像するだけで
吐き気がするよ





ひゃッ!?
そ...そこはあ

あんっ
ううう...ッ

くすぐったい
あんっああッ

さてお次はつと



ああ...
そんな...っ

おお綺麗な乳輪だなあ

てかちよつと乳首が
勃起してんじゃねーか

そ...そんな...
違いますッ



これだ...
血液がグルグルと
忙しなく股間へと
集結していく感覚

はあっはあっ
はあっ...

ああッ

ズンズン

はっ...
はっはっはっはっ

“他人に脱がされた”
という付加価値が
こうも心を刺激するとは

熱く燃え滾る
発汗が喉の渇きが
止まらない



まったく
うるせえなあ

はっ

おっぱい
揉まないで……



んひゃっ!?

くりっ

やっ……あつ
ああ……



ふふふつ
お前の奥さん
見かけによらず
イイ反応じゃねーか

あ……ああ

なあ……見てみろよ
直太郎のやつ
面食らってるぞ



くふつ……
きゅひいいッ!?



あんたがこんなに
卑猥な表情するの
かって驚いてるぜ

びっ
びっ
びっ

んぐううう……
ぎゅうう
ぐにゅうう……ッ!?

も……もう無理いッ!

こ……こんなの
おかしくなるつ
壊れちゃうのお

びっ
びっ



んぐっ!?

ふふっ

身体がビクビク
してきたぜ……

もしやイツちまい
そうなのか?

ぐぎゅッ!?

んにゅぐぐうう
ううううッ!

イイぞ……
直太郎の前で
イツちまえ

あ……ああ……

んおおお……
おっおっおっおっ

おーおー
激しく
よがっちゃって

こんなにもまあ
あつさりと
イクなんてなあ

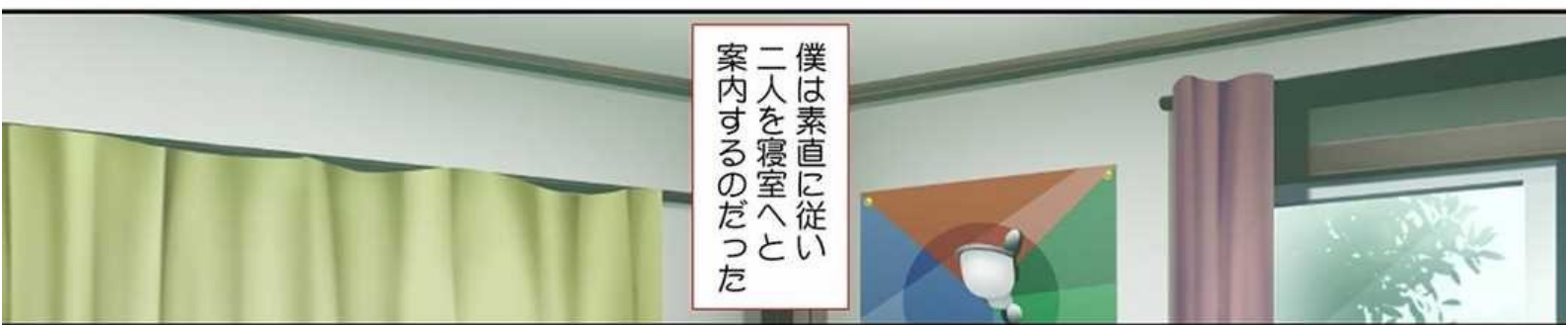
な……何これえ
痺れるう……

こ……こんなの
知らない……
頭がばおっとするのお

チョロいもんだ

どうやら妻にとつて
初めての絶頂だった
ようである

あ……あああ
佳代子お……ッ





ほらケツ突き出せ
ハメてやつからよお

ひ…ひい
む…無理い
入らないですっ！

こんなの
壊れちゃう
から……っ

なら試して
みようぜ
入るまで
何度でも……な



あなたあッ！
も…もう無理よお
止めましょう
私…怖いっ！

私が私じゃなくなって
しまう気がしてッ

ごめんなさいっ
でも…こんなこと
しなくたって…
私あなたを愛して
いるわッ！

だから……
もう



ちっ…うるせえなあ
今さら止めらん
ねーんだよ

あああ……
やあッ！

あ…あなたあッ！

佳代子……っ



このままじゃ
私……
この人に犯されちゃうッ!

た…助けて
ねえ……っ

妻の想いは
痛いほどわかる

二人の心が繋がっていれば
それで良い……
それは僕も同じ気持ちだった

だが…もうこの局面で
覆すのは不可能である

……っ



司も僕も

……ごめん
佳代子

あああ……
そ…そんな
そんなあ……ッ

完全にリミッターが
外れてしまったのだから…



あつダメ……
ダメッ
だっ……

おっ…おっお
おお…おっお
おお…おっお

くっ……
こりゃキツッいな
上手く
ねじ込まねーと

お……っお……っ
おお……っ!

ダメえ……
いやあッ
止めてえええッ!





突かれているのは
妻なのにまるで僕が
犯されている気分だ

あつ
あああッ

あああ……

佳代子お
佳代子お……ッ！

あ……あなたあ……ッ！

ああああ……
あなたあつ
ど……どうしてえッ

そ……そんなに硬く
しているのぉッ！



ひひっ
お前の旦那
随分と小せえモノを
ぶら下げてるんだなあ

確かにそれじゃあ
痛いはずだぜ

ま……すぐに
慣らしてやるよ
俺のサイズになあ

あああ……
ダメええッ



ぐううう……
お腹……破け
ちやうううッ！

ひぎひぎッ！
ひひひ……ッ

そろそろそらッ！
スピードを
上げてくぜえ

しっかり覚えろ
この刺激をよおッ！

いやああッ！
んああッ

あんっあんっ
ああああッ！

ひうっ!!
うひひひッ！





ははっマジで
イッちまいやがった

二人とも素直に
イけたご褒美だ
受け取れっ！

んおっ!?
おおおお
中出しされでる……ッ!?

あっあっんおおっ
おおおおお……ッ!



ゴムを外してると
勘違いしてんのか?

望みだったら
次は生ハメ中出し
してやつても
イイんだけどよお……

なあ
直太朗?

……っ!?
それは……っ



ふう出た出た
いや俺も久しぶりに
我を忘れて
興奮しちゃったぜ

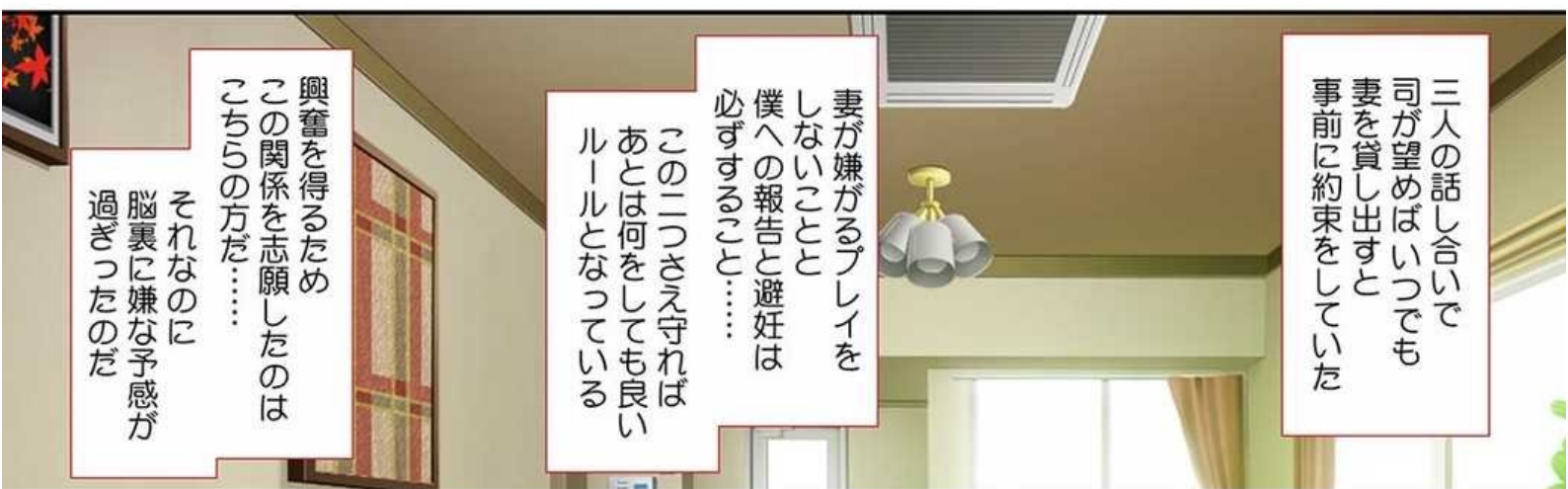
あ……あ……
す……凄いい
こんなにいっぱい
出ていたの……ッ!
ほ……本気で孕ませる
気だったのね

何驚いてんだよ
ふっーこれくらい
出すもんだろーが

……いや
そうか
旦那の射精量は
これっぽっち
だもんな

……オスとして
何もかもが劣っていると
思い知らされる







あああつ黒くて
硬くてピクピクしてて

し…信じられ
ないわ……

ふふつ
こんなんでも
驚いてもらっちゃ
困るなあ

興奮すれば
もっともつと
大きくなるんだぜ



こ…こんなに大きいのが
私の中に入ってたの……？

あああ……
す…凄いつ



クツサああいい……ッ！

コレとてもクサいわ
汗のニオイが
纏わりついてて

ほ…本当に……
舐めなきゃ
ダメなの？

ああ…言つたろう？
汚れててクサいから
綺麗に舐め取って
貰うんだよ

ん……ん……ッ
ひうッ!!



おいおい

あああ……
佳代子おッ



ううう
……ッ！

しょ…しょっぱいいッ
舌あ……
ビリビリしますうッ

イイねえ
その表情
ゾクゾクするぜ

二人して
ひでえ顔しやがって

これじゃあまるで
俺が悪いことしている
みたいじゃねえか

ほら…ずっと
同じとこ舐めてても
つまんねーだろ

そうだな……
次は口で頬張って
貰おうか

お…おいつ!!
さすがに
それは……ッ!

ああ?
何言ってるんだよ
直太郎

俺は
お前が興奮できるように
指示しているんだぜ?

……あ

……あなた

あ…あ……
こ…これは
違うんだ……ッ

大丈夫……
大丈夫よあなた
私…頑張る
頑張るから……ッ

よおし
イイぞ

そのまま唇と舌で
揉みこむように
甘噛みするんだ

ぐわ

ぐわ

くっ……
ううう
ふ…ふああい……ッ





ほら直太郎も
見てみろよ

くっ……
ううう……ッ



クサぁいいッ!
酷いわ……
こんなの嫌あ
あああ……ッ

はははっ
随分と様変わり
したなあ
俺の精液で
ずぶ濡れに
なつてら



……え?

ビクッ



まあまあ
そんなに睨み
付けるなって

何だかんだ言つて
“二人とも”
興奮してたん
だからよお



ち……違ふのッ!
わ……私は何も……ッ
きつと何かの
間違いだからッ

まさか……
この状況で
佳代子も興奮
していたのか?

冗談だろ……



ん……ッ!
ひううッ

お……おい……
佳代子?

まさかお前も?



ひひひっ
あー……ヤバいわ
また興奮して
きちまったぜ

予定変更このまま
ぶち犯してやんよ

さあてたつぷり
楽しんでやろうかな
くくくっ

あ……ああ……

お……おい司ッ!
妻はもう疲れて
いるんだ……

今日はもう
やめてくれっ!



ああ?
そんなのどーだって
イイんだよ

言っただろ?

ムラムラ
しちまったって

正直目の前を
ウロつかれると
萎えるんだよなあ

そうだ
ならお前にも
役目を与えて
やるよ



いわゆる
“ハメ撮り”って
やつだ

記念になるぜえ

これがあれば
大事な奥さんが
寝取られてる様子を

何度でも楽しむ
ことができるぞ

……ッ!?



嫌なのおっ!!

と…撮らないでえッ
こんなに恥ずかしいのが
ずつと記録に残っちゃう
だなんて……



ひひひっほら…
しっかり撮れよ

あ……ああ
やああ……っ

あああ……
あなたあ

ああ……
ダメだ

それも他人の男に
犯されて……

僕が向けた
カメラの前で
妻が乱れゆく姿



ひひひっ
今のこいつに
何を言っても無駄さ

ほら見てみるよ
興奮で我を忘れ
ちまつてるだろう
からなあ

そ…そんな
あなたあ……ッ

観念しなつて
俺たちも

あいつのために
ひと肌脱いで
やろうぜ……



そらっ!

ひあ……
ああっ
あああ……
~~~~ッ!





なあお前がどれだけ  
感じているか……

正直な気持ちを  
あいつに教えてやれよ

え……ッ!?

やつ……  
あつ……  
うっ……



ぐうう……  
ううううッ



きつとあいつのじゃ  
満足できなく  
なっちゃうだろうなあ

抜いた後は  
ぽっかり穴が  
開くぞお?

くくくッ



ほら……

素直に言えよ

本当はもう気持ち良く  
なってるんだろ?

やらしい声

漏れちゃってるぜ

あううッ  
ち……違いますう

これはあ……  
そのつ  
あのお……ッ

んんんううッ

……なら嘘だってイイ



せつかく  
あいつのためにビデオ撮影  
してんだからよお……

興奮するため  
一芝居打ってくれよ

ひっ……  
イイイイイ  
いい……ッ!

は……激しッ  
さつきよりも  
速くてえ……

んくうううッ!

こ……壊れちゃうううッ!  
なのにい……何でっ  
何でえええ……ッ!!

佳代子……  
お前



ち…違うのお  
あなたあつ！

これは……

は、は、

んああつ  
違ってえ

おいおい奥さん  
その反応はちげーぜ

は、

ここは  
“感じています”  
って答えねーと

…ッ！



あ…あなた……  
そ…そうなの……？

私が……  
この人に犯されて  
感じていたら……

こ…興奮……  
する……？



旦那は寝取られて  
興奮するんだぜ？  
な…嘘でもイイから  
言ってやんなよ

く、



私……本当は  
少し…ほんの  
少しだけど……

か…感じて  
いますう……ッ！

……ッ！

は、は、



い…いや……  
それは……



はあはあ……  
あなたあ！

あなたを好きな気持ちは  
変わらないのっ！



私い……  
この人に乱暴  
されてるのに

無茶苦茶に  
犯されているのに

すんごく濡れて  
しまつて……  
興奮してえ

ど……どうしてなのおッ



でも  
でもお……っ

この人の……っ！  
あなたのより  
大きくてえ 硬くてえ……

あああッ  
頭がぐるぐるしてきてえ  
よくわからないのおッ

いいぞお……  
ほらほらあつ！  
もつと伝えてやれッ！

ひっぎい……ッ！



そ…それええ  
膣奥をぶちゅんっ  
ぶちゅんって  
潰されるのお

気持ち良すぎなのおっ！  
お腹が痺れちゃうううツ

あうっ  
うんんんっ！

おらっおらっ  
おらっおらっ！

孕み袋はこうやって  
扱うんだよおっ！

ひひひっ  
このまま中に  
出してやるっ！



ゴムをぶち破って  
子宮に注ぎ込んで  
やるからなあツ

や…破けちゃううう  
ガバガバになっちゃう  
のお……ツ！

ああああっ  
あんっ！

やつ……やめ……で  
あああッあ……ツ

ああああ……  
ダメええ……  
赤ちゃんできちゃううう

べん

他人の子供お  
孕んじやイヤなのお

あっあっ  
あっあっ  
ああああ……

何か…込み上げて  
くるう……ツ！



あああ……  
佳代子おツ

たつぷり味わえ……  
そらっ！

ダメっダメえ……っ！

目の前にいる妻が  
どこか遠くへ  
連れていかれるような  
感覚だった

んぐうう……ッ！



んおあああッ  
イクっ……  
イクイクっ！

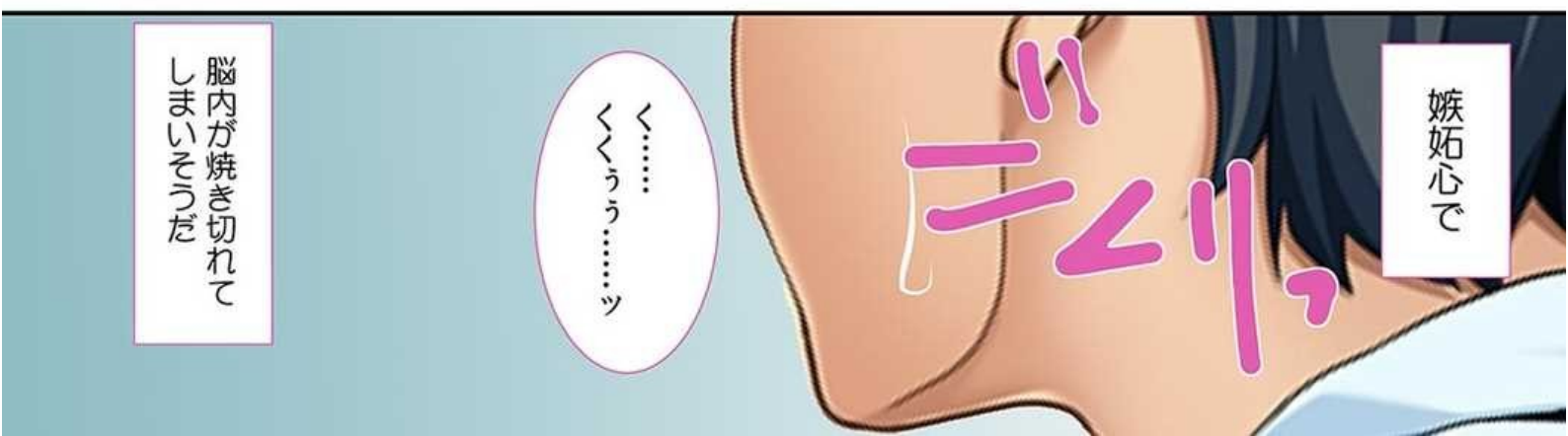
んううう……ッ  
ああああつああ  
~~~~ッ！

何か出ちやうううう
ひああああ~~~~ッッ！

おとおお……ッ
すっげえ
搾り取られるう
なんだコレえ
やつべえ……ッ

おとおお……ッ
熱い！お腹の中
焼けちやうのお……ッ

気持ちイイ……
こんなの初めてえッ



嫉妬心で

く……
くくうう……ッ

脳内が焼き切れて
しまいそうだ

司から一枚の
ディスクが
送られてきた

……ッ!?

『あっ……ああっ
司さんっ!
気持ちイイ……ッ』

気持ちイイの
お……ッ♪』

『はあ……はあ
司さん……
あああッ』

……なんだよ
これっ

『おいおい
どうしたあ?』

今日は随分と激しく
求めてくるじゃねーか』

ぽっ

● REC

どうやら隠し撮りらしく
妻はカメラの存在に
気付いていない様子だった

『んあ……そ
……それはあ……んんっ』

『ひひっもしかして
あいつの前では
遠慮してたのか?』

今日は二人きりだから』

『そ……それ以上
言わないでえ』

『くくく……
そっちがその気なら
俺も本気で相手
しないとなあ』

ぶちゃ

『んやあ
ああ……ッ!
そ……それええ』

ピリッ

『硬いので
ごちゅごちゅ
突かれるのおつ
好き……』

ああああッ……
きやんっ
ひやうう
うんッ!』



『んあああつ
司さあん……ッ！
好きっ
これえ……好きいいッ！』

『あの人も
ずっとお……ッ！
大好きなおッ』

『ああ俺もだぜ……
佳代子
俺もお前が大好きに
なっちまった
これからもたっぷりと
愛し合おうな……』

佳代子お……
佳代子おッ

ううう……ッ

佳代子が本気で
司とセックスしてるっ
こんなに乱れて
気持ち良さそうに



『あああん……
嬉しいいい好きいい
大好きい……ッ！
私も愛しているのお』

あぁ……
ち…違うよなあッ!?
佳代子は司とのセックスが
好きただけだよなあ？

『あああ司さあん……♪
もっと激しくしてえ
私の中あぐちやぐちやに
犯して欲しいのお』

やめろ……
もう十分だっ！

佳代子お
やめてくれえっ！



『…またっ絶頂が
きちゃいそう……』

司さあん……私
イッちゃいそう
なのお……』

『んくくううう……ッ』

『ふふふっイイぜえ
俺だけに見せてくれよ
お前の本気のイキ顔
下品な表情
期待してるからなあ』

『もっと下品に喘げ
ほらっ!』

『んおおおっ
ごおおっ!』

お腹あ……
破けちゃうううッ!』

『ブチブチいつてるうう
痛気持ちいいいっ
何これえええ〜ッ!』

『おおおお……
イグッ!
これイグうッ!!』

あーっ
あーっ

『ガチ勃起ペ〇スで
腹パンされてイグッ!
子宮潰されて
使えなくなっちゃううう

んおおお〜……ッ!』

ぐく
ぐく

『んぐつつうう
うう〜ッ
穴が押し広げられてえ
ガバガバになっちゃううう

イクイク
イグううう
んぎゅうっ
ううう〜ッ!!』

『ぎひひひっ
イイねえその顔っ
ほらよご褒美だ』

『んおおおおお……つつ!!
ギモチイイ……っ!』

初めて目にする
本物のイキ顔だ

『司さあん
私い……
イツてますうう
すんごいの
キちゃってるううッ』

『はっあああ
ああ〜っ!』

『司さんのお
何でこんなに
凄いのお……ッ!』

中がミチミチに
満たされてるう
破裂しちやいそうッ』





『寝室でお前の奥さんと一緒に待ってるぜ』

『鍵は開いてるから中に入ってイイぞ』



『おお直太朗か
つたく...ようやくかよ』

ピンポン



くそお...
佳代子おっ!

ぐっ...



ホント欲情スイッチが入ると
どうしようもねえなあ

くくくつ
イッたばかりなのに
まだ求めてくんのかよ

めえやっ



お...おいっ!
佳代子っ!

ああんっ
イイでしょおッ♪
司くんとのおキスう
大好きなんですもの

.....え



司くうん...

.....あああつ
これえ.....
気持ちイイわあ.....

あんっ
あああッ♪

司くうん...
キスうもつと
しましよお

離しちや
やあんなのお

ちやっ



こんなの嘘だっ！

佳代子は
もつと清楚で優しくて
僕を常に気遣ってくれて…

ねえ……
そういうの
もういいから

あなたは私が
司くんのモノになる方が
嬉しいんでしょう？

現に今も
アソコを大きく
させているわ

私たちが愛し合っている
ところを見て
興奮したのでしょうか？

ぐちゃっ

んふっ……
このままで
いいじゃない

私も

ぐちゃっ

司さんも

あなたも

みんな気持ち
良くなれて
みんな幸せ

ね…司さん

もおいしい加減に
してよおっ！
あなたは良くて
私が無理なのっ！

こんな快感
知ってしまったら
元に戻るはずが
ないじゃないっ！

無理無理っ
絶対無理っ！

ああ……
や…やめてくれえッ！
僕はもういいんだっ！

君が戻ってきて
さえくれれば
それで……

ぐちゃっ

んぐちゃ



佳代子ごめん……
僕が間違っていたっ！
身勝手な欲望で
無茶苦茶にしてみました



んだよ
イイとこなのに
邪魔すんのかあ？

ああもう十分だっ！
離れてくれっ！
もう…佳代子には
触れないでくれっ！



もう止めてくれっ！



……あるさ
僕は…佳代子を
愛しているっ！

司よりも……
絶対にだっ！



こんなこと
もうしないから
だからもう一度
やり直してくれないかっ

ひやははははっ



佳代子……ごめん
いくら謝っても
足りないと思う
だから一生かけて
償いたい

頼りないかも
しれないけど

僕は誰よりも
佳代子を愛して
いるから……ッ！



おいおい
今さら何なんだよ？
こいつは俺に
靡いてたんだぞ

お前には
俺に勝る要素なんて
あるのか？



妻を巨○の親友に差し出しました ～後悔だらけのNTR記録～【フルカラー】

著者 Red.D

©アパタイト

発行 カゲキヤ出版

本書の無断転載・複製等は著作権法上禁止されております。